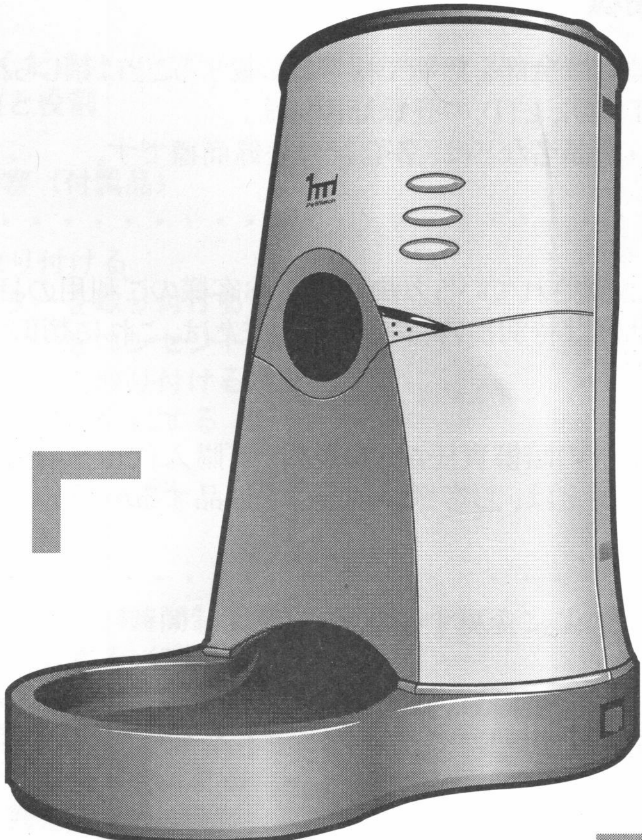
取扱説明書



Timer PetWatch™

Automatic Pet Feeder

PetWatch SA • 取扱説明書

はじめに

本製品をご使用になる前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。

商標および登録商標

免責事項

付属の取扱説明書に記載されている方法により、お客様のご利用の目的が達成できるかどうかに関わらず、SBMTは特別損害、間接損害、または、これに類似する損害に対する一切の責任を負いません。

いかなる場合にも、SBMTの賠償責任が、本製品のご購入代金を超えることはありません。上記の責任限定・免責規定は、お客様が本製品を返品するか否かにかかわらず適応されます。

本書の内容は将来予定なしに変更することがあります。

本書の内容は、万事を期して作成しましたが、万が一不審な点や誤りなどにお気づきの点がありましたらご連絡ください。

目次

安全上のご注意

本製品をお使いいただく方や他の人々への危害や損害を防ぐために必ずお守りいただきたいことを説明しています。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が発生する可能性および物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

電源はAC100Vのコンセントを使用する 規格外での利用は、火災・感電の原因になります。	**電源コードをたこ足配線しない** たこ足配線などは、火災の原因になります
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしない	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因になります。
改造しない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理しない 火災・感電・怪我の原因になります。修理はお買いあげの販売店、又は弊社サポートまでご相談下さい。	**コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない** 感電・ショート・火災の原因になります。
幼児の手の届くところで使用しない 感電・やけどの原因になります。	**電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない** 電源コードが破損し、火災・感電・の原因になります。
水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電・火災の原因になります。	**お手入れの際は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜く** 感電・怪我・やけどの原因になります。
異常時(焦げた臭いなど)は、稼動を停止して、すぐに電源プラグをコンセントから抜く 異常のまま稼動を続けると火災や感電の原因になります。稼動を停止して、お買いあげの販売店又はお問合せ先　株式会社 ボブ カスタマセンター　までご相談下さい。	**ペットにいたずらさせない** 電源コードをかじったり、本体にじゃれたりすると、思わぬ怪我・感電・火災の原因になります。本体や電源コード等で遊ばないよう、十分にしつけをしてご使用下さい。

動作確認をしてから使用する
本体の操作や遠隔操作など、正常に動作することを確認してからご使用下さい。動作を確認しないで使用すると、餌詰まりなど、思わぬトラブルの原因となります。

お手入れをして保管する
長期間使用しない場合には、ペットフードを全て出して空の状態にして保管して下さい。放置すると、カビの発生・悪臭・思わぬトラブルの原因となります。

⚠ 注意

差し込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜く
感電・ショートの原因となり、発火することがあります。

使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜く
怪我・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

不安定な場所には置かない
傾いたり、転倒して餌をこぼす原因になります。

ドライフード（5～10㎜程度の粒状）の餌以外は使用しない
餌詰まりや故障の原因となります。

定期的に掃除する
長期間連続して使用する場合は、内箱を定期的に掃除して下さい。掃除せずに使用を続けると、思わぬトラブルの原因となります。

お手入れをして保管する
長期間使用しない場合は、ペットフードを全て出して、まんべんなく掃除をして空の状態にして十分に乾燥させて保管して下さい。放置すると、カビの発生・悪臭・思わぬトラブルの原因となります。

室内で使用・保管をする
室内で使用・保管をしてください。
室外で使用・保管されますと、故障・劣化の原因となります。

1. はじめにご確認ください

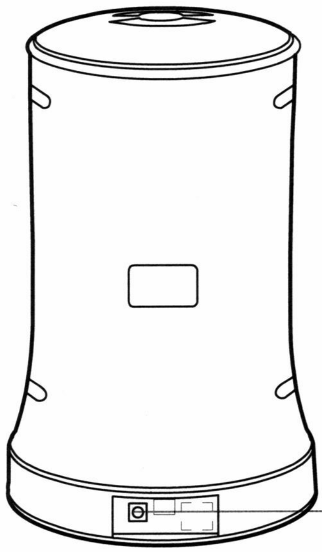
各部の名前と役割

本体

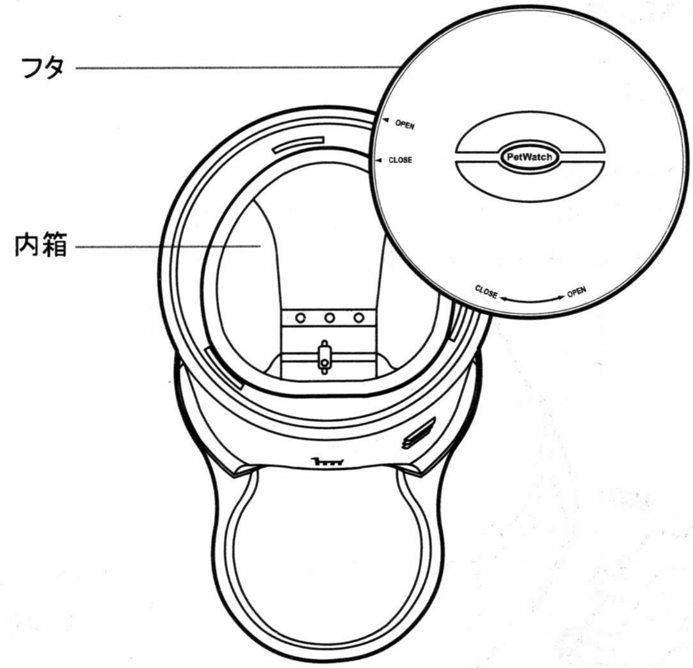
●正面から見た図



●背面から見た図

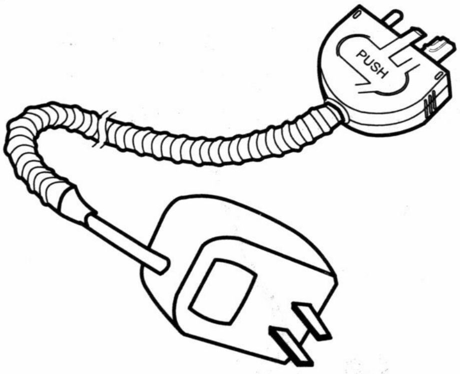


●上から見た図

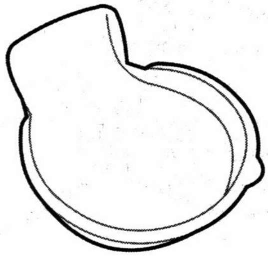


セット内容（付属品）

●本体・・・1個　●内箱・・・1個
●フタ・・・1個　●取扱説明書兼保証書・・・1冊（本書）
●ACアダプター・・・1個



●フードトレイ・・・1個

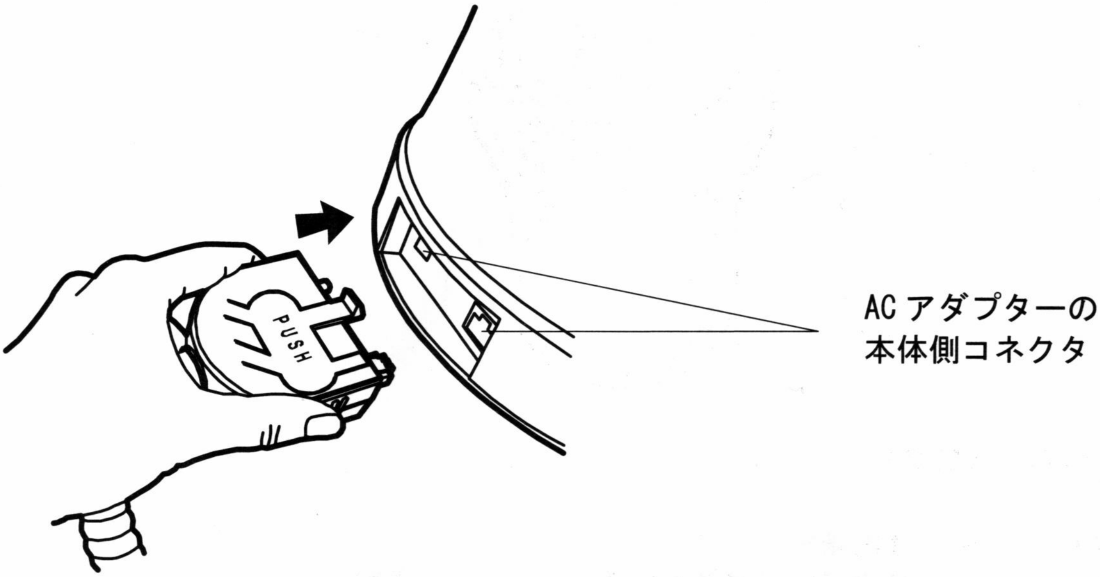


2. 本製品の設置

付属品を取り付ける

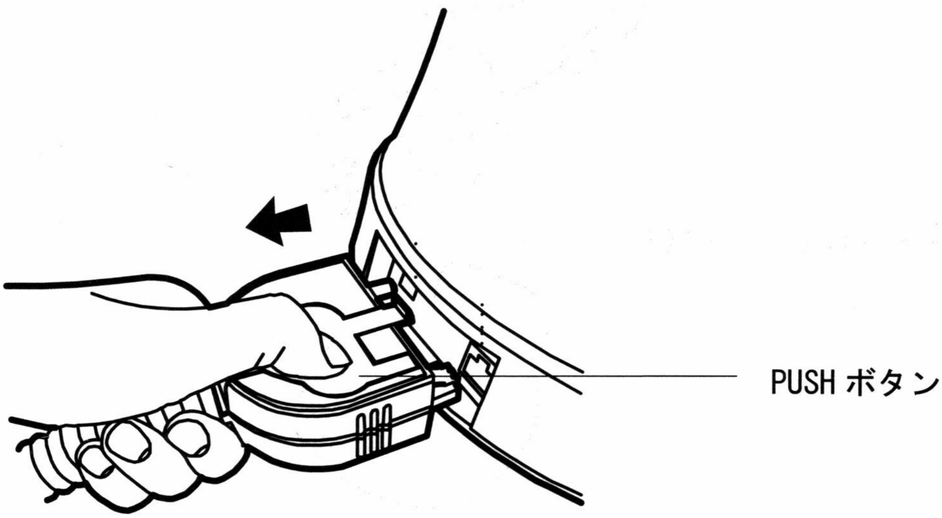
ACアダプターを取り付ける

1. 本体の電源スイッチが「OFF」になっていることを確認する。
2. ACアダプターの本体側コネクターを、本体に差し込む。



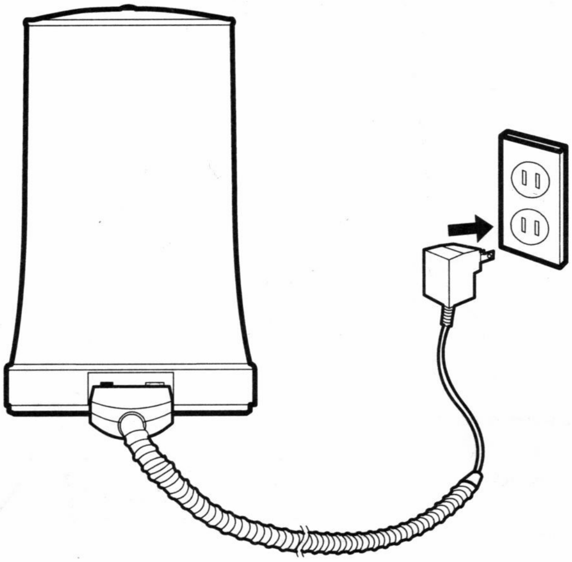
●取り外すには

1. 本体の電源スイッチが「OFF」になっていることを確認する。
2. 電源コンセントからACアダプターを取り外す。
3. ACアダプターのPUSHボタンを押したまま、本体からACアダプターを引き抜く。



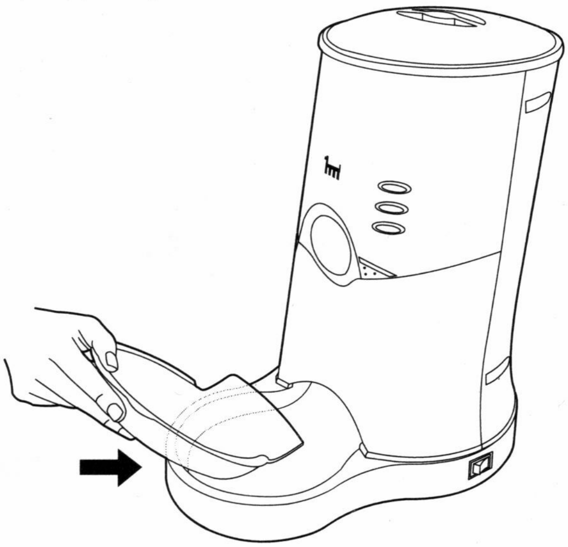
ACアダプターをコンセントに差し込む

1. 本体の電源スイッチが「OFF」になっていることを確認する。
2. ACアダプターを家庭用の電源コンセント(100V)に接続する。



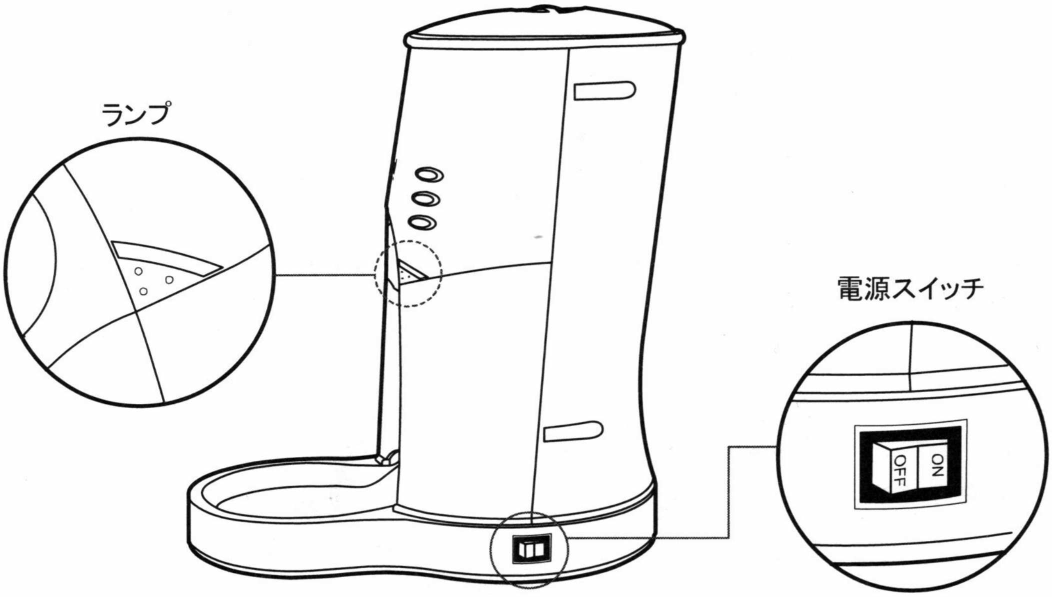
フードトレイを取り付ける

1. フードトレイを取り外し、緩衝材をはがす。
 フードトレイは、取り付け・取り外しが可能になっています。フードトレイを保護するため、フードトレイは出荷時に包装されています。
2. 本体にフードトレイを取り付ける。



電源スイッチを「ON」にする

1. 電源スイッチの「ON」側を押す。



フタの開閉

フタを開ける

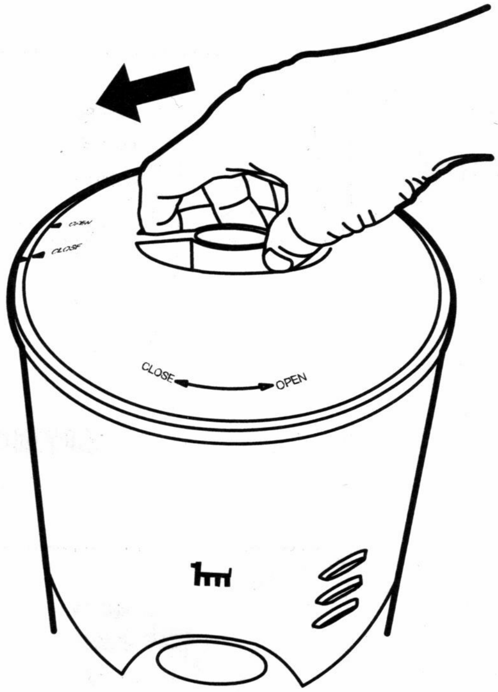
1. フタを反時計回りに回転し、本体から取り外します。
2. 内箱が入っていることを確認してください。

注 意
本装置では、安全のために、フタが開いている状態では、給餌動作を禁止するようになっています。この状態を通知するため、フタを開けると、ランプが点滅します。

フタを閉じる

1．下記のイラストのような位置にフタを乗せ、時計回りにねじって本体のフタを閉じます。本体の矢印とフタのCLOSEの矢印を差し合わせて下さい。

2．フタが正常に閉じた状態では、右側のランプの点滅が停止し点灯します。必ず点滅の停止を確認してください。

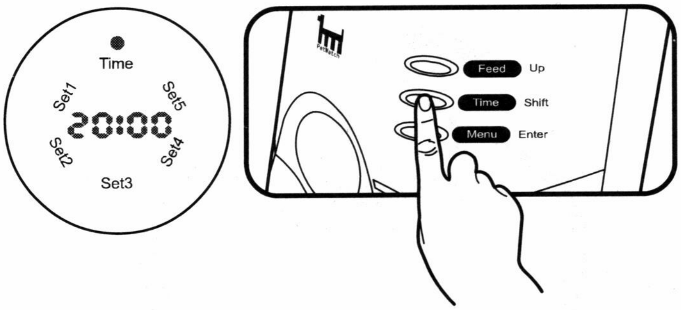


注 意
本装置では、フタが開いている状態では、給餌動作を禁止するようになっています。したがって、普段はフタを閉じておくようにしてください。

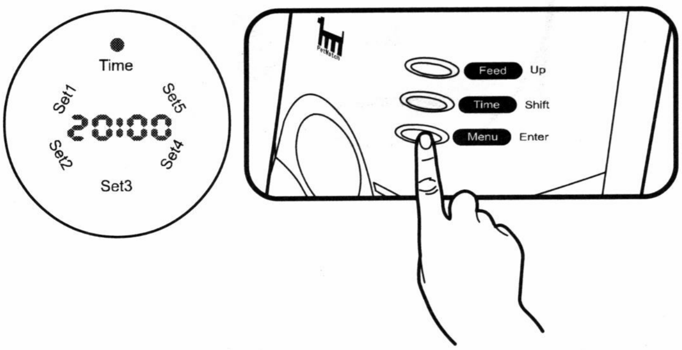
3. 使い方

時計を設定する(24時間制です)

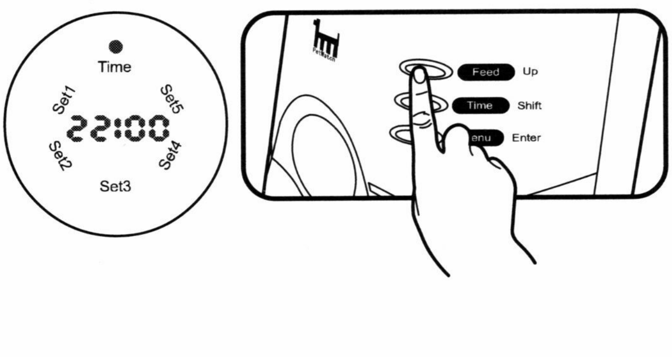
① Timeボタンを約4秒長押しすると、Timeの表示画面部分に緑ランプが点き、設定モードに入ります。



② この状態で、Enterボタンを短く押すと設定されている時刻の一桁目の部分が点滅します。



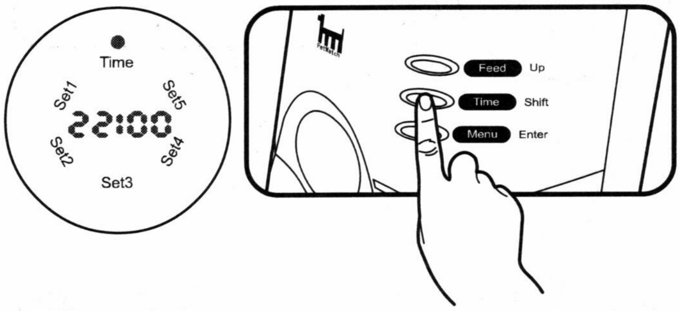
③ Upボタンを押して点滅部分の数字を変更してください。



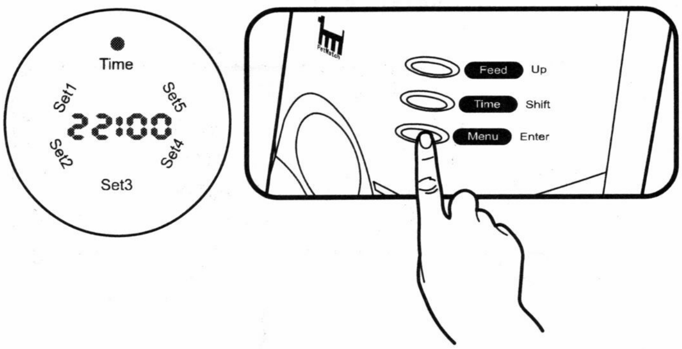
注 意

「20:00」～「23:59」を設定する場合は、左から二桁目の数字を3以下に変更した後、一桁目から現在時刻を設定してください。設定の範囲は「00:00」～「23:59」になります。

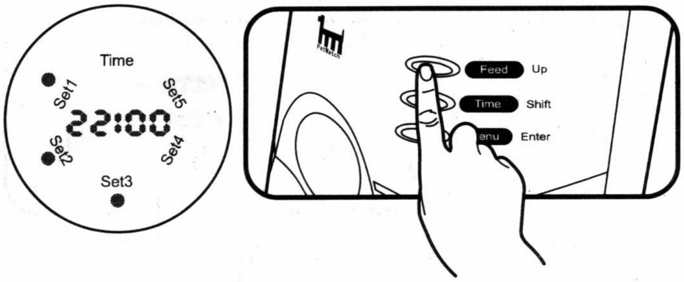
④ Shiftボタンを押して隣の桁へ移動させます。時・分を ③・④の動作を繰り返して、現在時刻に設定してください。



⑤ 現在時刻を設定した後、Enterボタンを押すと設定が確定されます。

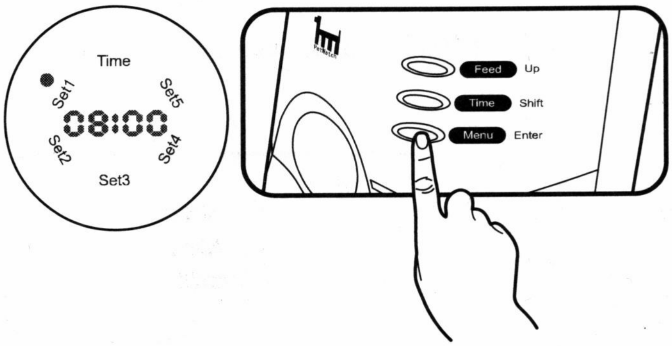


⑥ 設定が終わった後Upボタンを押すと、時計の動作が始まり、作動モード(給餌可能状態)へ戻ります。＊作業モードの画面表示は現在時刻を表示します。



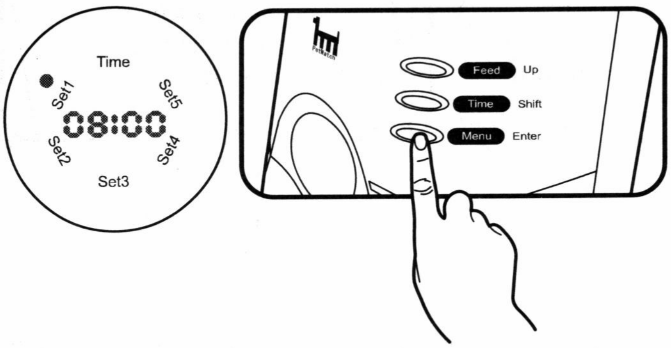
自動給餌を設定する（時間及び給餌量）

① 作動モード（給餌可能）の状態で、Menuボタンを約4秒長押しすると画面表示が現在時刻から給餌時刻に変わり設定モードに入ります。画面に表示される赤ランプはSet1にのみ点灯します。

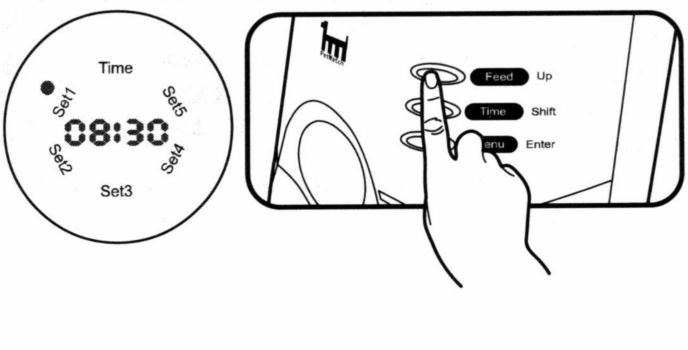


② Set1を設定する場合Enterボタンを短く押すと、赤ランプと給餌時刻の一桁目の数字が点滅します。

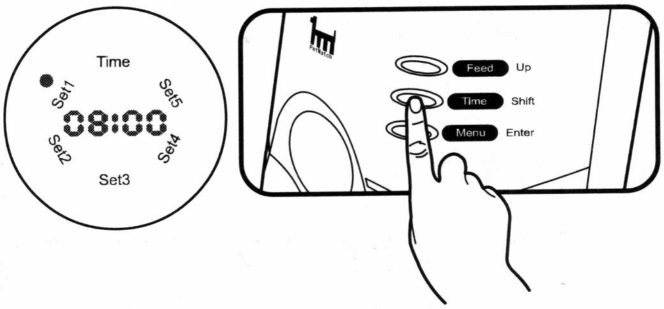
＊Set2～Set5を設定する際は、Shiftボタンを押して赤ランプを移動させた後、②の操作をしてください（⑧の操作説明、P17）。



③ Upボタンを押すと点滅した部分の数字が変わります。

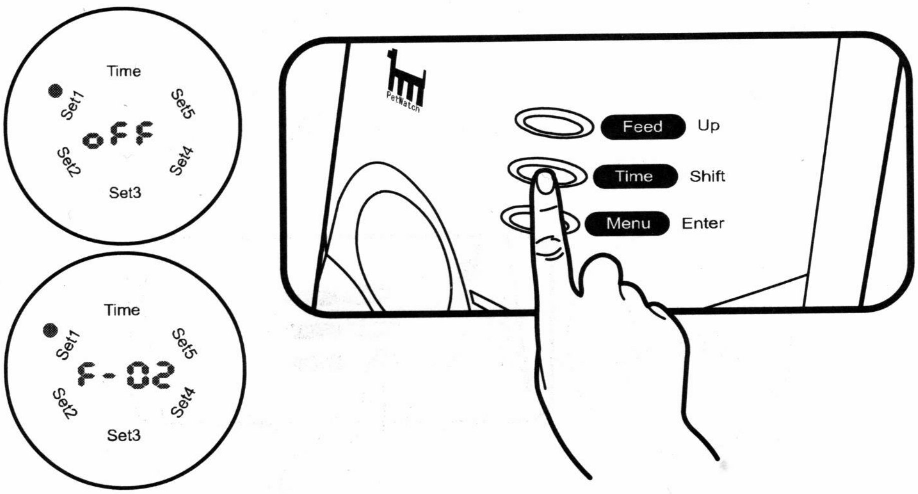


④ Shiftボタンを押すと点滅部分が移動します。③、④の動作を繰り返して給餌時刻の設定をしてください。



注　意
「20:00」～「23:59」を設定する場合は、左から二桁目の数字を3以下に変更した後、給餌時刻を設定してください。

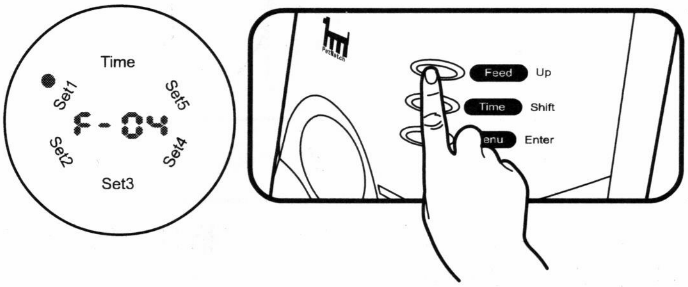
⑤ 給餌時刻を分単位まで設定した(画面表示は給餌時刻の一番右側の数字が点滅状態)後、Shiftボタンを押すとF-01～08またはOFFと表示され、給餌量の設定ができます。



注 意

F-01～F-08が画面に表示された場合は、その表示内容の餌の量が出ます。
OFFが画面に表示された場合は餌が出ません。

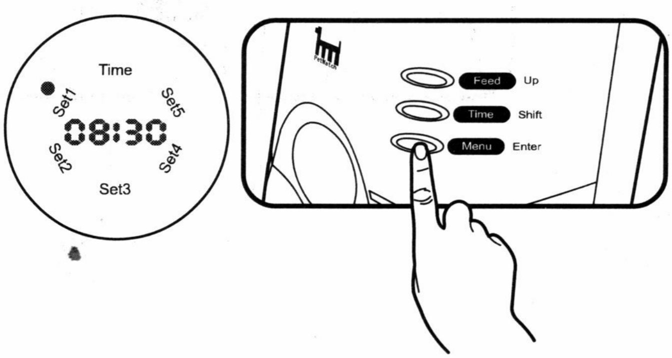
⑥ Upボタンで餌の量(8段階の量またはOFF)を決めます。



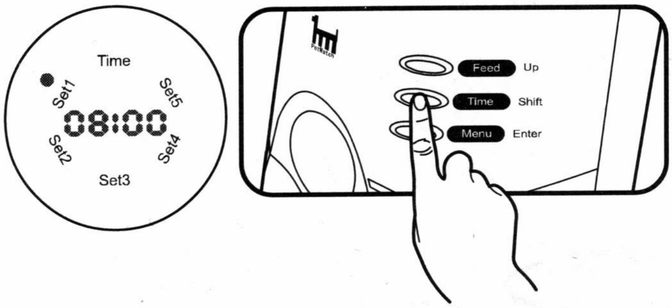
注 意

F -01の給餌量は目安で約5g～10gです。給餌量の段階を上げると約5g～10gずつ増えます。 (F-08の場合約40g～80g)
*上記の量は目安であり、実際の給餌量は餌の大きさ・形状・機械の構造上により異なります。必ず給餌の際は、給餌量を目でご確認ください。

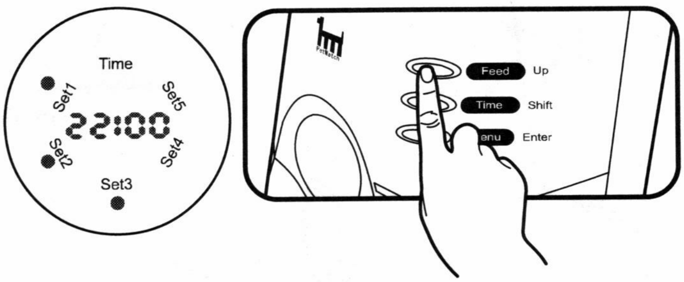
⑦ Set1の給餌時刻・給餌量を設定した後、Enterを短く押すと、設定内容が確定します。
＊Set2～Set5の設定の際も同様です。



⑧ ⑦の後、Shiftボタンを押すとSet1〜Set5に移動できます。例えばSet2へ移動するとSet2の部分に赤ランプ が点き、Set2の給餌時刻が表示されます。
※Set2〜Set5の設定は、②〜⑦の操作を繰り返して設定してください。



⑨設定完了後(⑦の動作後)、Upボタンを押すと、現在時刻が表示され作動モード(給餌可能状態)へ戻ります。



注 意
作動モード（給餌可能状態）にした後、Set1〜Set5に赤ランプが点灯すれば、餌が出る状態に設定されています。赤ランプの表示がなければ、餌が出ない状態に設定されています。

＊設定の途中で一定時間操作しないと・・・・
作動モード(給餌可能状態)に戻ります。その際は①の操作をすると、途中だった設定画面へ戻り設定の続きができます。

＊はじめて使用される際は必ずSet1〜Set5の設定をしてください。

手動で給餌する

Feedボタンを約4秒長押しする。(P19) 1回の長押しの給餌量はF-01と同量です。

4. ドライフードの与え方

内箱にドライフードを入れる

フタを開け、内箱にドライフードを入れます



注　意
※ 使用可能なドライフード 5～10mm程度の大きさで粒状のドライフードを使用できます。 その他のフード（ウエットタイプなど）は使用できません。

● 入れすぎにご注意

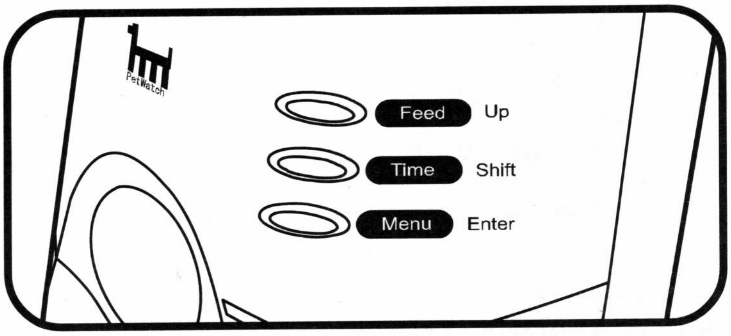
ドライフードは内箱いっぱいに入れず、内箱のクチから約2cmの余裕を残して入れてください。

入れすぎるとフタが閉められない場合があります。

● 本体を傾けない

ドライフードを入れたまま、本体を傾けないでください。

ボタンの役割を覚える



ボタン	押し方	役割
Feed	長押し	一定量のドライフードを与えます。（手動で餌を出す場合） ※一回分の量は使用するドライフードの大きさや形によって異なります。
Time	長押し	現在時刻を設定します。
Menu	長押し	給餌時刻・給餌量設定モードに入ります。
Up	短く押す	点滅部分の数字を変更する。/給餌作動モードへ戻す。
Shift	短く押す	点滅部分が移動する。/Set1～Set5へ移動する。
Enter	短く押す	数字を点灯と点滅に変える。/設定内容の決定をする。

注 意
※ペットによる誤作動を防止するため、約4秒の長押しまたは、短く押す場合は強く押さないと操作できないようになっておりますのでご注意ください。

5. 日頃のお手入れ

本体のお手入れ

注 意
使用中や、使用直後はお手入れをしないでください。 本体を丸洗いしないでください。

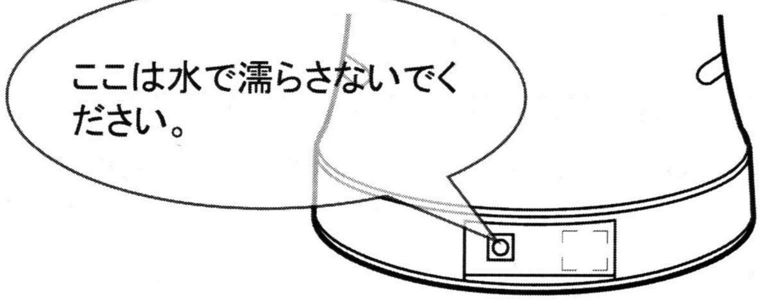
1. 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認する。

2. アタプターをコンセントから抜き、本体側コネクターを本体から取り外す。

3. 水を含ませて固く絞った布で拭き取る。

4. 乾燥させた布で乾拭きする。
本体が倒れないように支えながら拭いてください。

● 中性洗剤を使うときは
水で薄めて使用してください。
使用後はよく拭き取ってください。



内箱のお手入れ

お手入れの前に

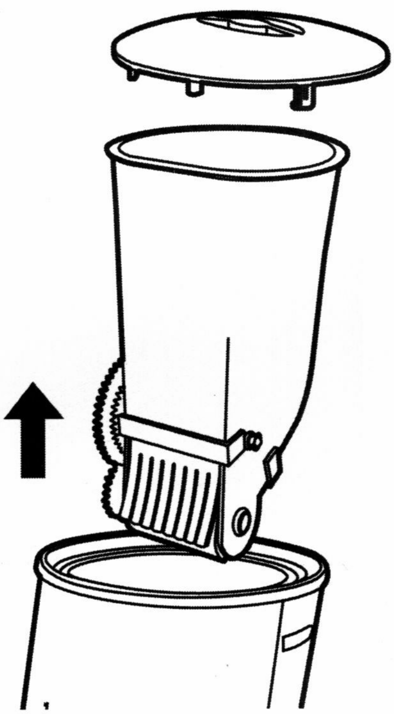
●ACアダプターを取り外す

電源スイッチが「OFF」になっていることを確認してから、ACアダプターを取り外してください。

●内箱を取り外し、内箱を空にする

フタを開けて、本体のボディ部分を押さえながら、上方向に引き抜いてください。
内箱にドライフードが残っているときには、 すべて出してください。

注　意
内箱を取り出したとき、本体の内部に手を触れないでください。 精密部品があるため、故障の原因になります。



内箱を洗う

● 内箱を洗う際のご注意

水洗いをお勧めします。（洗剤を使用するときは中性洗剤を使い、使用後は水でよくすすいでください。）

シンナー、ベンジン、研磨剤など、内箱を傷める恐れのあるため使用しないでください。

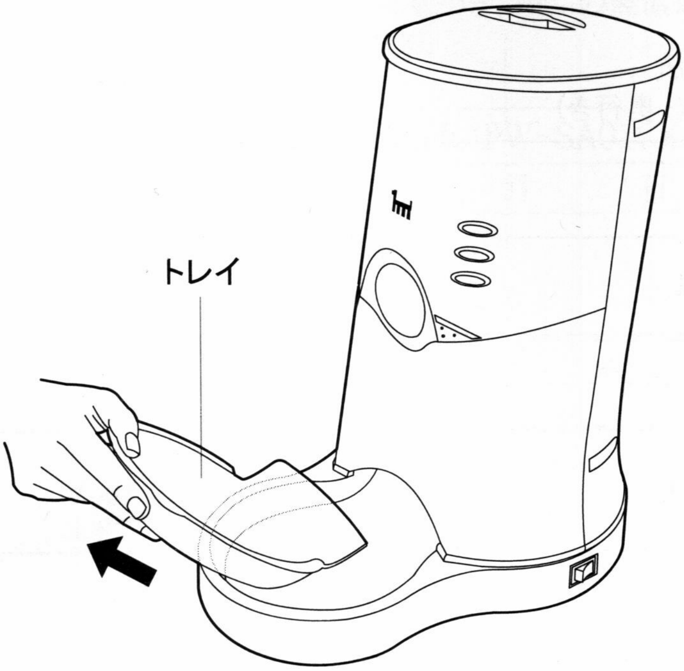
洗うときには、無理な力をかけないでください。（内箱が壊れることがあります。）

十分に乾いていることを確認してから、内箱を本体に取り付けてください。

注意
内箱を分解しないでください。故障の原因になります。

フードトレイのお手入れ

1. 本体からフードトレイを取り外す。



2. 水洗いする。
激しく振ったり、衝撃を与えたりしないでください。

● 洗剤を使うときは

中性洗剤を使用してください。
使用後はよくすすいでください。

長期間使わない場合は

ACアダプター、本体側コネクターを取り外しておいてください。
内箱を空にしてください。
お手入れ後、本体と内箱をかけ干ししてください。
直射日光を避け、湿気の少ないところに保管してください。

6. 製品の仕様

本体

外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	320mm × 350mm × 225mm
材質	ABS
餌容量	約700g(ドライフードは別売り)
質量	約 3kg
電源電圧	AC 100V

環境

温度	動作時	0 ～ 50 度
	保管時	-20 ～ 60 度
	運搬時	-20 ～ 60 度
湿度	動作時	10 ～ 85%(結露なきこと)
	保管時	0 ～ 90%
	運搬時	0 ～ 90%

製品保証書(1 年保証)

この製品保証書は当社が定める製品保証規定に基づき、製品の無償修理を約束するものです。(保障期間:お買い上げ日より一年間有効)

製 品 名	PetWatch (PW-SA01CXJP)	
お買い上げ年月日	年　月　日	
お 客 様	ご住所 〒　－	
	E-mail:	
	TEL:　(　)	
販 売 店	印	

●無償サービス
保障期間内ならば、以下のとき無償とします。
正常な使用をしていたにも関わらず、故障が発生した場合の修理
製品の欠落で修理できない場合の製品交換

●有料サービス
故障の疑いがあるときは、お問合せ先 株式会社 ボブ カスタマセンターまでお問い合わせください。
保障期間内でも以下の場合は原則として修理費用を請求します

操作上の誤り、および弊社によらない修理や改造による故障および損傷
購入年月日、購入販売店名、購入販売店の捺印がない場合
火災、風水害、地震などの天災により故障および損傷
購入後の輸送、落下などによる故障および損傷保証書の提示がない場合

●注意
本保証書は、日本国内で使用される場合に限り有効です。
本保証書は、本製品を使用したことによって万が一お客様が被った被害などを補償するものではありません。
本書は提示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものであり、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

PetWatch™ Timer 取扱説明書 2010年12月 改訂第3版

[お問合せ先/販売元]

株式会社 ボブ

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町3丁目6 新見附ビル 6階
TEL: 03-3513-7451
E-mail: info@bobu.co.jp
営業時間: 平日 AM10:00-PM5:00
土・日・祝日は、定休日

[製造元] SBMT Co., Ltd.